

決算審査特別委員長報告(概要)

認定第1号「令和2年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について」を認定

末嘉 井上 委員長

主な質疑

(総務部関係)

質疑 ショートアニメなどのPR事業に2,500万円ほどかかっているが、今後もこういったことをしていくのか。

答弁 一時的には話題になるけれども、しばらくすると忘れ去られるので、市の知名度向上のために今後も、一定レベルでやっていく必要があると考えている。

(地域振興部関係)

質疑 そうめんの事業所は全体で何件あるのか。また、認知度向上と販路拡大に努めているが、どのような効果があったのか。

答弁 そうめんの製造業者の数は、現在、約220件である。また、効果については、製造業者が減少して、生産量自体は減っているが、総売り上げは、前年よりアップし

ている。これは、知名度

が上がり、単価交渉ができたことによるものだと考えている。

(教育委員会関係)

質疑 アートビレッジ・シラキノ事業で、版画に関連した講座を開催し、地域住民との交流を含め、本市の魅力の創出につなげることができたところがあるが、実際は、南有馬の町民でも何をやっているのか、全然、分からない状況である。もう少し発信をするべきではないか。

答弁 御指摘は、地域との交流ができていない部分と、地域の方への周知ができていない部分だと思ふ。今後は地域の方に向けて、活動を発信していきたいと思ふ。

(建設部関係)

質疑 しゅんせつが行われた河川は、今度の大雨でも、流れがよく、災害

を防ぐ効果があると思つた。そこで、令和2年度中に、しゅんせつをした箇所は、何箇所か。

答弁 2年度は、護岸の修繕をした。しゅんせつについては、3年度からの新規の事業が直面していたので、3年度から調査を進めながら、各河川の、堆積した部分の河積の確保を目指している。

(農林水産部関係)

質疑 バナナの補助で、当初と補助の内容が変わっているが、説明を。

答弁 当初予算の説明のときには、株が1本3万円、200本分の600万円、その2分の1を補助する予算だった。実際に、これで募集を行ったが、応募がなかった。その理由は、苗だけではなく、土壌も必要だということだったので、1立米当たり約3万円の土壌と苗のセットに内容を変更して、再募集を行い、採択した事業者に補助をしたという経緯である。

(福祉保健部関係)

質疑 令和2年度の生活保護の相談は、82件あった、申請は36件だったということだが、相談に来たけれども、申請につながらなかった理由は。

答弁 相談には、制度の中身を知りたいという方も結構いらつしやる。また、相談時に生活困窮者自立相談センターの相談員を含めたところで、対応しており生活保護だけではなくて、生活保護以外でも必要とされる支援や利用できる制度はないか検討して、その関係部署につなげている。

(市民生活部関係)

質疑 令和2年度のマイナンバーカードの加入状況は。

答弁 令和3年9月12日現在、申請件数が1万5,697人、そのうち、交付済の方が1万3,833人。申請率が35.32%、交付率が31.13%である。

反対討論①

給食は、自校方式が一番ベストだと思つている。最初、市から給食センターは11億円での提案があったが、途中から大きくなって21億円になった。新給食センターを造るのは、アレギー対応していることを前面に出していたが、始まってみたら、たつた卵1種類しかできない。21億円もかけて、こういう結果は、おかしいと思つている。

反対討論②

まず、アートビレッジ・シラキノ事業だが、これは、できた当初から非常に批判的な状況があつて、いまだに、地域にも何をしているか分からないという、存在感が非常にない事業である。これを続けていては、市の財産が損失を受ける。

それから、文化財保護で、コストをかけているが、原城跡にしても日野江城跡にしても、どのように変わっているのか状況がなかなか見えない。

また、依然として行われている三県架橋であ



新学校給食センター (西有家町)

賛成討論なし

る。島原・天草・長島架橋、これは口之津ターミナルもできたので、フェリーを生かして、橋を架けるという構想はやめたほうがいいと思ふ。

次に、国保への繰入金も相当要求してきたが、全くない。

さらに、学校給食費の無償化であるが、令和2年度にずっと要求してきたが、一つもない。

最後に、医療費の窓口無料化である。現物給付について、今度の決算書で、何の努力も見られない。